

(別 紙)

一村一エネ事業 設備等導入概要

市町村名 更別村

- 1 補助事業名 木質バイオマス資源の地域内活用による森林保全推進事業
- 2 コンソーシアム名 未利用バイオマス資源循環推進コンソーシアム
- 3 事業期間 平成28年8月5日から平成28年11月30日

4 事業の目的

未利用バイオマス資源の活用と地域における新エネルギーの導入を推進するため、コンソーシアム代表者が運営する簡易宿泊施設を伴ったアクティビティーセンターANDOOR と併設されている事務所等に木質ペレットボイラーを導入して冬季間の暖房を行い、化石燃料及びCO²排出量の削減を図る。また、十勝管内の市町村とも連携して未利用森林資源を原料とした木質ペレットの生産を行って利用するモデルを構築し、バイオマスボイラーの導入推進を図ることで、エネルギー資源としての林産事業の振興を図る。更別村は平坦な地であり、毎年道内外から多くのチームが参加し「全日本ママチャリ耐久レース」を開催していることからサイクリングに訪れる方も多く、簡易宿泊施設への環境に配慮した再生エネルギーの導入をPRすることにより、イメージの向上や滞在型観光の振興につなげ、地域経済の活性化を図っていく。

- 5 補助金の交付額 4,200,000円

6 事業の概要

簡易宿泊施設及び事務所兼店舗への木質バイオマスボイラーを新たに導入し、暖房等の熱源として活用、地元林地から発生する林地残材を木質ペレット加工製造事業所に自社で持込み、委託により製造し、導入したボイラーの燃料として利用する。これらの循環の輪を作り地域で発生する未利用バイオマス資源を活用した再生可能エネルギーの地産地消を図る。

7 事業の実施結果及び期待される効果

ペレットボイラーを本事業で整備したが、その性能や取扱性が予想以上であり、導入してよかったと実感している。今後、当初の目的通り地域住民をはじめ地域全体にPRすることで他の事業所などでの導入機運が高まり、木質バイオマス資源の活用促進の一助となることを期待したい。実際にペレットボイラー導入で管内関係者からの問い合わせがあり、改めてバイオマス資源の利用が促進される手ごたえを感じた。また、同様の設備導入が増えることで木質ペレットの需要が増加し、林産事業や関連産業の活性化が図られ、雇用の維持・拡大が期待できるとともに安定した燃料供給体制が構築されることで地域における再生エネルギー導入の促進が図られる。導入した施設がサイクリング観光拠点である簡易宿泊施設であり、十勝の豊かな自然

環境や美しい景観を生かしたエコ・ツーリズムの魅力ある拠点として、更には近隣市町村と連携し同施設を核とした体験型観光ルートが増えることで交流人口の増加による観光振興が期待できる。

8 今後の展開

今後、バイオマス施設見学ツアーライド等の新たな観光商品で集客を行い、広く啓発できるような見学コースを作ります。更別村としても木質ペレットボイラーの導入をエネルギー地産地消のモデルケースとして、自然環境に優しいエネルギーの活用に関する情報提供、普及・啓発活動を実施し、一層の新エネルギーの導入や関連産業の振興を図っていく。

9 状況写真

